



みはらふくし情報

3月号

令和4(2022)年
3月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

広島県のまん延防止が3月6日まで再延長となり、活動の自粛を要請する期間は2ヶ月に渡っています。活動団体からは、「電話で体調や様子をお互いに気に掛け合っているよ」、「朝の散歩を日課に体力づくりを頑張っているよ」など、自粛中の取り組みの報告をたくさんいただいています。長引く自粛に気分の落ち込みや暮らしの悩みもあると思います。何か気になることがあれば社協まで遠慮なくご相談ください。

まちの未来をえがこう

～久井小学校6年生まちづくり学習会～

久井地域センター

久井小学校の6年生は、フィールドワークや講師の話聞き、地域の良いところを発見したり、“まちの未来”について考えたりする学習会に取り組んでいます。今年度は、久井の子育て・高齢者・農業の支援に取り組む方々等が講師となり、それぞれの取り組みを学ぶ“まちづくり学習会”がオンライン形式で行われました(令和3年9月)。

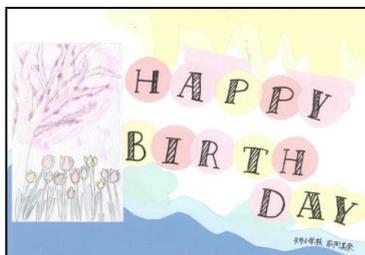
社協からは、コロナ禍で人と話をする機会が減っている高齢者等を気にかける取り組みである電話や訪問による声掛けや、『バースデーカードボランティアクローバー』(久井地域のひとり暮らしに誕生日カードを贈る活動)を紹介しました。

中でも、『クローバー』の取り組みに関心を示した児童たちは、実際に季節に応じた誕生日カードを作り、社協に届けてくれました。このカードは、実際に『クローバー』の活動とタイアップして、久井地域の一人暮らし高齢者に届けていく予定です。

社協では、市内の小中学校の福祉学習を応援しています。「こんな地域になったらいい」、「地域の中で支え合いたい」・・・児童たちの思いをひとつひとつ実現していけるよう、地域住民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



令和3年9月にオンライン形式で
講師の話聞く児童たち



児童たちが手作りした誕生日カード (一部抜粋)

次年度の活動準備はいかがですか？

もう活動いらないんじゃないかと思ってきちゃう。

やりたくても会場が使えんとねえ。

活動への気力が下がって再開するのが正直しんどい。

集まらんでもできることって何があるかねえ？



来年度も同じ計画で良いよね～？

早いもので今年度も残すところあと1ヶ月となりました。代表者さんの中には、理想と現実のはざま、次年度の計画づくりに悩んでいる人も多いかと思います。年度末に差し掛かり、社協にも様々な相談が寄せられ、活動を諦めようかと考える団体も少なくありません。「もういいか」と諦める前に、一歩立ち止まってみませんか？

「自分たちのやりたかった活動はどんなこと？」「活動を再開するのに難しいことはどんなこと？」「今できそうなことはどんなこと？」など、コロナで活動できない今の時間を利用して、ゆっくり考えてみましょう。考えたことは、集まれるようになったときに参加者も含めてしっかり話し合ひましょう。次年度の活動のことをわたしたちも一緒に考えますので、一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

お役立ち情報

アルコール消毒のこと、知っていますか？

今回は、アルコール消毒液について意外と知られていないことをいくつか紹介します。

アルコール消毒にもすっかり慣れてきたところですが、正しい知識で引き続き感染対策に取り組んでいきましょう！

爪の間の消毒忘れずに！



爪の間は、細菌が溜まりやすい場所です。

片手で“小さいアルコールの池”を作って指先を浸すことで、爪の間までしっかり消毒することができます。

使用期限に注意しましょう！

使用期限を過ぎると殺菌効果が期待できません。パッケージに記載されている日付を確認してみましょう。多くのアルコール消毒液は、製造から3年間は大丈夫だといわれています。

期限が過ぎた液は、日常の掃除に使うと良いでしょう！アルコールは気化するので、水拭きの必要なくキレイにできますよ！

例) ●鏡や窓ガラス ●キッチンなどの調理器具
●シールの剥がした跡 など